イヌの視線の向きが印象に与える影響

—口の開閉および耳の形状による検討—

○大森慈子・千秋紀子・水田敏郎（非会員）

（仁愛大学人間学部）

キーワード：イヌ，視線，印象

The role of gaze, open mouth, and ear shape on impressions of dogs

Yasuko OMORI, Noriko Chiaki and Toshiro MIZUTA

(Faculty of Human Studies, Jin-ai University)

Key Words: dogs, gaze, impressions

目 的

私たちは、ヒト以外の動物とも深く関わりながら生活している。特にイヌは、最も古くに家畜化された動物で、ヒトと社会生活を行うために高い社会的能力を備えている。イヌの外見は、被毛や耳の形状によってそれぞれ抱かれるイメージが異なる。一方、ヒトの場合、特に顔や目の動きが印象に大きく影響する。そこで、イヌの表情における視線の役割に着目した。

本研究の目的は、イヌの視線の向きが印象に与える影響について、口の開閉および耳の形状との関係を検討することであった。

方 法

被験者：大学生81名（男性38名，女性43名），平均年齢は18.6歳（範囲18–23歳）であった。

刺激：立ち耳（コーギー，シェットランド，柴，チワワ）と、垂れ耳（キャバリア，ダックス，テリア，レトリバー）の各4犬種，計8犬種の正面顔のカラー写真（9.5cm×6.5cm）を用いた。各犬種とも開口と閉口の2頭の写真があり，それぞれ瞳孔が眼裂の左右中央にある直視と左右どちらか3分の1に位置する横目の2種類が作成された。視線（2）×口（2）×耳（2）×犬種（4）の刺激は，各犬種においてイヌの異なる16枚からなる2つの刺激セットに分かれていた。**印象評価：**10個の形容詞対を用いた（7段階尺度）。

実験手続き：集団実験として印象評価冊子を被験者に配布した後，各写真のイヌに対する印象評価が16回繰り返された。印象評価冊子には，刺激セットと刺激の順序が異なる16種類があった。評価に時間的な制限はなかった。

結 果

Table1は，各印象評価項目の因子負荷量を示したものである。2（視線）×2（口）×2（耳）×2（犬種）×81（被験者）の1296ケースにおける各項目の評価値をもとに，主因子解を用いた主成分分析を行った。バリマックス回転後，“落ち着き”“勇敢さ”“愛らしさ”の3因子を抽出した。

Figure1は，“勇敢さ”因子における視線の向きと口の開閉別の平均因子得点を，耳の形状ごとに示したものである。2（視線）×2（口）×2（耳）の分散分析を行ったところ，口の主効果がみられた（ $F(1, 80) = 9.60, p < .01$ ）。また，視線と口の交互作用，視線と耳の交互作用（ $F_s(1, 80) = 35.39, 11.85, p < .001$ ）が認められた。TukeyのHSD検定の結果（ $p < .05$ ），開口のイヌは，閉口のイヌに比べて勇敢でないと評価され，特に直視のときに顕著であった。さらに，閉口のイヌは直視のときの方が横目のときよりも勇敢であると評価された。また，直視のイヌは立ち耳のときに，横目のイヌは垂れ耳のときに勇敢でないと評価された。

考 察

因子分析の結果，イヌの視線に対する印象は，対人認知の基本的次元（林，1978）である“個人的親しみやすさ”“社会的望ましき”

Table 1. 各印象評価項目の因子負荷量

項目	因子負荷量		
	I	II	III
落ち着きのある—落ち着きのない	.86	-.00	.00
慎重な—軽率な	.82	-.05	.10
従順な—反抗的な	.72	-.13	.29
勇敢な—臆病な	.11	.80	-.21
すばやい—のろまの	-.33	.71	-.09
賢い—愚かな	.54	.63	.08
外向的な—内向的な	-.46	.59	.15
愛らしい—憎たらしい	.08	.08	.76
気の強い—気の弱い	.08	.31	-.61
親しみやすい—親しみにくい	.25	-.00	.59
固有値	2.86	2.00	1.27
寄与率（%）	28.56	19.95	12.73

Figure 1. “勇敢さ”因子における耳の形状ごとの視線の向きと口の開閉別の因子得点。

“活動性”に類似する3因子に整理された。イヌがヒトに近い存在として捉えられている可能性を示している。

口を閉じているイヌは，直視の場合に横目の場合よりも勇敢であるという印象であった。口を閉じていて真正面を見ていると，用心深く攻撃的な感じを強く与えるものと考えられる。一方，耳が立っているイヌは，直視のときに勇敢でないと評価された。番犬などによく用いられる耳の立っている犬種であると，横目のほうが目つきが鋭くなり，周囲にまで注意を向けているように見受けられるのかもしれない。

以上，本研究により，イヌの視線に対する印象と，口の開閉による表情および耳の形状の関連性が示された。

引用文献

林文俊（1978）. 対人認知構造の基本次元についての一考察 名古屋大学教育学部紀要（教育心理学科），25, 233–247.